

# 自信と私

ベッチ ・ ツアイ  
グループ1－夏サル

## 目次

1. 動機
2. ディスカッション
3. 結論
4. 終わりに

## >> 動機 <<

世界でどんなことは成功になるのでしょうか。それは、自信を持つことです。人間はいつでも、どこでも、自信を持てば、何かむずかしことだって解決すると思う。

私は今19歳、明るい、自信がある女性です。でも、子供のごろの私と今の私は比べると違います。子供のごろの私は、弱かったし、自信がなかったし、本当に弱虫でした。私の家族は4人です。父、母、姉と私、4人で住んでいて、とても幸せでした。でもそんなに幸せな環境で育て、何で自信がないだろうかっていうのをよく思っていた。

家で私は一番下の子供です。両親の心の中で私はいつも小さいと思われた。そして、子供の頃の私は他の子供たちより性格の成熟が遅かったのです。そのため、いつも自分は他の子供より下手と言うことを思っていた。そういうふに、思っていて、チャレンジと言う事をやってみたくなくなりました。そうすると、自信が少しずつ無くなってしまった。自信がない時、つまらない感じがよくあり、易い事だってできなさそうです。

初めて自分の自信がないことを見つけたときは中学校の3年生です。その時、私は16歳、つまり子供たちの一番大変な時代。性格静かと運動神経の私は学校で、時々学生が何とか私のことを全然着付かなさそうです。その時から自分は他の人より弱いと思っていた。しがし、学校でみんなに受けられてほしかったのはできなかったために、自分だっで自分のことがきらいになった。その時私はよく学校のカウンセラー、日本語で指導員と言う、訪れに行った。さまざま困ることについてをはなして、家に一番若いと学校であったことをきちんと指導員に言われた。やはり、原因は自信がないだ。

2001年高校の卒業して、大学生になった。そして、私の初めで一人暮らしと言う生活を始めた。大学の一年生間、家族の側にいなくて、何でも自分でしかできなかった。そして、大学でそんなに学生からプレシャがなくて、みんなは大人ように友達をつくる。最初、一人の生活と言う事は、できるかどうか、不安だった。それで、私は「やらない事は、今からやってみましょう」、「自信を持ちなさい」、「どういうふうにはほかの人に思われたがわすれよう」と心の中で呪文を唱えよう。その時から、さまざま自分でできない事はドンドンできるよになってきて、とても喜びでした。毎回成功になると自信が強くなってきた。そんな成功の満足感は無自信ということをしずつ忘れさせるようだ。

私にとって、自信を持つこと、人生は一番大事な事です。自信を持つ事と言えば、学校で勉強するのではなく、将来の仕事でも、恋人と付き合うことでも、妻と母親になることでも、もし自信感がなければ、生活はうまく行けないんだ。ですから、もしあなたは自信感がある者の一人だったら、あなたの人生は幸せはずだ。もしあなたは自信感がない中の一人だったら、今から自信を持ってみましょう。

## ディスカッション

### 1. この文章を読むと自分の意見がありますか？

私：ヘリンさんと矢本さんはどうですか？意見がありますか？例えば、感想やもっと聴きたいこととか？

ヘリン：ベッチさんは、一人で自信を乗り越えられるですか？

私：そうですけど、もちろん、他の人からアドバイスも必要です。

ヘリン：この文章をよむと、高校頃を思い出した。私にとって、一人で暮らしのがあまり好きじゃない。一人でとても自由けど、家族と友達からアドバイスと認めるがないので、自信をよくなくなってしまうという感じがある。だから、他の人は認めてくれるということ自信を持つ、繋げる。

矢本：自信があるかないか、それは自分の考えかたに関係がある。自分で「私はできない、できない」と思うと結果は無自信感になる。もし楽観の方面で考えたら自信を強く持て来る。

ヘリンさんと矢本さんは、この文章を読むと感想がちがいます。ヘリンさんにとって他の人に認めされると自信感を強くなるだが、矢本さんにとって自信感をなるのは楽観の方面を考えるとことだ。二人の意見はいいと思う。他の人認めされて、気持ちよくなって、自分のことも好きになる。私は高校生頃、他の学生に認められてほしいんだが、できなかった。それは、その前無自信の一つの理由だと思う。そして、楽観の方面を考えるとできない事を少しずつできるようになってきて、自信も自然に強くなるようだ。

### 2. あなたの生活にとって自信をもつことは大切ですか？

私：私は子供の頃から自信があまりないんだから、自信を持つのを大事だと思う。自信があるとないのは差がある。無自信感のは気持ち悪いんだ、きっと。ですから自信を持つのは人生を幸せにならせると思う。そのため、自信を持つのは大切なことですね。矢本さん

とヘリンさんはどう思いますか？

矢本：自信と言えればいい人間関係を守るのにかかわる。無自信感の時、自分のことを嫌いになって、友達、クラスメートや仲間などと一緒にいる間、自分を嫌だと、自分の意見が答えない。そうしたら、友達を作り難い。でも、自信感があると、自分と他の人の関係をうまく調和する気がする。そうすると、自分の意見とか答えて、いい人間関係をできると思うん。

ヘリン：とても大切ですよ。自信が持てば、そんな満足感がある。

私：そいえば、満足感がないと自信を無くなっちゃうの？

ヘリン：そうですね。でも、矢本さんの意見も自信と関係がある。

矢本さんとヘリンさんによると自信を持つのは人生の大事な事です。自信感があるかないか、自分の気持ちに影響するではなく、いい人間関係を守るである。

### **3. 自信がないという経験がありますか？もしあれば、どうやって乗り越えますか？**

私：私にとって、無自信感ときは、頭の中で「自信を持ちなさい」、「平気してよ、私は大丈夫から」という話を繰り返して考えてる。本当に役に立つと思う。もちろん、皆の方法は違うですね。ヘリンさんにとって、どうやって無自信感を乗り越える？

ヘリン：韓国にいたときはいつも自分の気持ちを両親と親しい友達に教えた。そすると、向こうから慰めてくれるとか、認めてくれるを聴くと自信がつながるようになって来る。

私：今日本にいるですよ。家族や友達が側にいない、どうするの？

ヘリン：韓国の両親と友達に電話をかける。

私：私そう思う。家族と友達が一番親しいから、当たり前皆から慰めと認めるのは自信を返させると思う。私でもよくそんなことをする。矢本さんはどうですか？

矢本：ベッチさんとヘリンさんの解決する方はとてもいいと思うけど、私の方法はちょっと違います。わたしにとって、何かは自信感を無くならせしてしまうという原因を見つけなければならぬんです。原因を見つかったら、そこから変えると自信をもっと強くもつてると思う。

私：その通り。原因を見つけるのはとても大事なことです。

もう一度考えて、原因を見つけるのは一番無自信感を乗り越えすだと思ふ。原因を見つかったら、そこで、直して、自信を継続的に持つて行く。他の人から認めるのをとても嬉しいことと思ふだが、もし自信があれば、認めるか、認めないか、自信感を影響できない。

#### 4. あなたの書いたテーマにとって、自信と言うことは関係がありますか？

ヘリン：関係がありますよ。私のテーマはダイエットですから。やっぱりエツと自信感をつなける。

ヘリンさんの動機はダイエットと言うテーマです。ヘリンさんにとって、自分のイメージを認めるということはとても大切なことです。そのイメージというのは体が太い、細いや顔が格好良いということです。もし自分のイメージは他の人にみとめされなったら、無自信感になる。私だつてよくそう思ふですけど、もっと考へてそんなことはないと思ふ。世界の中、人々の考へ方や、意見など全部違ひます。そのため、誰の答えが一番正しいのをわかりません。もし自信があれば、誰かの意見を聴いても、気持ちをかわれなない。つまり、まず、自分が自分のことをみとめるのは他の人にみとめされるのより必要だと思ふ。

#### 結論

私にとって、自信を持つということは生活に欠けないことです。前から今まで、いろいろな自信感と無自信感の経験があつて、自信感というのは人生を進めるだので、このテーマを書きました。最初このテーマを書くときとディスカッションした後、考へ方を変りました。例えば、自信がない時、「自信を持ちなさい」と心の中で呪文を歌えることより、原因を見つかるのほうで自信を強く持たれる。原因を見つかったら、自信感を変わり難いと思ふ。

皆は、他の人に認めされるのが好きかもしれません。でも自信がある人、みとめされても、みとめされなくても、自信感を変わらなない。ですから、自分のことが好きな人は、自信感強い人です。

無自信感をさせるのは人々の場合よつていろいろがある。ですから、原因を見つけないというのと自分が自分を認めるのはしなればなないことだと思ふ。

#### 終わりに

この総合表現授業はとても面白かつたです。授業で皆と自分のテーマをいろいろ討論して、日本語を勉強になるではなく、いい友達もできまして、とてもうれしかつた。なつさるの

皆さんと TA 先生、どうもありがとうございます。

# ジャパニーズポップスについて

アイリーン・チン ホーヤン  
(グループ1-なつさる)

## 目次

1. 動機	1
2. ディスカッション	2
2.1 あなたにとって、Jポップスは何ですか？	2
2.2 Jポップスの魅力は何ですか？	3
2.3 Jポップスは人々にどのように影響していると思いますか？	5
2.4 「Jポップスは特別の意味を持っている」について	5
3. 結論	6
4. 終わりに	7

## 1. 動機

ジャパニーズポップス (J ポップス) が大好きです！そして、J ポップスが私の日本語の勉強と強い関係があります。

私は10歳から自分でも気づかないうちに日本語に興味がありました。当時私はまだ子供でしたので、日本語はよく分からなかったけれど、日本の歌の柔らかいメロディーと、耳によい日本語の言葉と発音に魅力を感じました。それで、J ポップスを聴くのが好きになり、自分で歌詞を一生懸命覚えながら、日本語を勉強して歌っていました。それから、歌だけではなく、歌手やアイドルにも興味が沸いてきました。そして更に、歌詞やアイドルの雑誌を読むようになり、日本の文化や流行や日本のニュースにも関心を持つようになりました。そのおかげで、日本のことについて興味を持ち、面白いと感じて、好きになっている自分を発見しました。

私は1995年頃からずっと、小室哲哉さんのJポップスが大好きです。小室さんは音楽の天才で、90年代のJポップスのプロデューサーの元祖だと思います。当時、小室さんのJポップスがとても流行っていたので、日本/外国の音楽業界ではとても有名でした。小室さんはその歌手(例えば、安室奈美恵やTRFや華原朋美など)にマッチした素晴らしい作品をプロデュースして、多くの良い曲を作りました。小室さんの曲はいつもテラーメイドですから、その歌手に似合う曲を作ることで、その曲の良い所がもっと発揮されるようになると思います。これは小室さんの魅力のひとつだと思います。小室さんは外国の人々にJポップスを広めたと思います。そのため、小室さんの影響力がは本当に大きいと思います。あの当時、私は彼のコンサートに行ったり、彼の情報を集めたりして、とてもはまっていました。コンサートのためだけに、留学していたオーストラリアから香港へ帰ったこともありました。

これからも私はJポップスに夢中で、いつもJポップスを楽しんで聴いていて、素晴らしい歌詞を読んでいて、一生懸命日本語を勉強して行くと思います。今の私の夢は日本語

が上手になることです。私はJポップスにはまっているので、頑張っで日本語を勉強することができると思っています。また段々と自分の夢を実現することができるので、自分の人生が豊かになって、人生を有意義に過ごすことができると思っていますね。もし私の人生にJポップスが無かったら、多分今の私は日本語の勉強をしていないかもしれません。更に、多分私の運命も全然違うでしょう。そのため、本当に私とJポップスの関係は強くて、影響が大きいと思います。

また、Jポップスは私だけでなく、アジアの国々でも流行っていると思います。魅力的なJポップスが他の国の人々に影響して、色々な国で段々と流行して行くでしょう。Jポップスを通じて、日本の文化を広めることができると思っています。多分他のJポップスが好きな人々もJポップスによって、日本のファッションや日本語や日本の文化に興味を持つようになると思います。例えば、20年ぐらい前の香港では日本で人気があったJポップスの歌手（中森明菜や近藤真彦など）の髪型が流行っていました。そして、たくさんの若者がアイドルの髪型を真似するようになって、他の日本の物事にも興味を持つようになりましたね！

私にとって、Jポップスは特別の意味を持っています。Jポップスのメロディーや歌詞（日本語のフレーズや表現）は他の音楽に比べてとても魅力的で、興味があるものです。強い興味があったから、日本語の勉強をすることを決めました。これから、このテーマで色々話し合いたいと思っています。例えば、Jポップスの魅力や、人々にどのように影響しているかなどです。そのため、この面白いテーマを選びました。

## 2. ディスカッション

ディスカッションの相手はグループ3-李三の廉美仙さん、グループ4-嵐の洪嘉恵さんと大学院2年生の森元桂子さんでした。廉美仙さんは「私と漫画」というレポートを書き、洪さんは「漫画から得る宝」というレポートを書いています。廉さんと洪さんもJポップスに興味があり、共通の話題や、ちょっと異なった意見もあるので、面白いディスカッションができると思いました。私はJポップスがきっかけで日本語を学び始めましたが、彼女たちは漫画を通じて日本の文化に興味を持ち、日本語を学ぶことになったみたいです。また、私、廉さんと洪さんも外国人なので、日本人が自分達の流行音楽・Jポップスをどう思っているかなどについて、異なった観点を得るために、日本人の森元さんとも話し合いました。結果的に、本当に新鮮な発想や異なった観点を得られ、レポートをもっと面白くさせることができましたね！

### 2.1. あなたにとって、Jポップスは何ですか？

廉：私にとって、Jポップスは趣味で、楽しくて、リラックスできるものです。

洪：私にとって、Jポップスは趣味で、日本の文化が分かるものです。

私：そうですね。私もそう思いますね。Jポップスは趣味で、歌詞で日本の文化が見えるようです。例えば、流行っている物や日本人の感情の表現や習慣や生活や考えなど。

- 洪 : 特に最近は恋愛の主題だけじゃないの歌が多くなったようです。だから、もっと色々な日本の文化を反映できると思いますね。
- 私 : それは本当ですね。私は子供の頃、まだ日本についてあまり分からなかったが、Jポップスを聴いてから、段々ちょっとづつ日本の物事が分かるようになりました。
- 廉 : 本当？良かったね！では、あなたたちにとって、Jポップスはリラックスすることだけではなく、日本の文化が分かる歌詞も大事みたいですね。
- 私 : つまり、全然日本のことを知らなくて、日本の物事が知りたい人にとって、多分Jポップスはとても役に立つかもしれませんね。  
では、Jポップスを聴いてとき、どんな感じですか？
- 廉 : 私は一人でJポップスを聴くことが好きです。特に、好きな曲を聴くと、幸せになると思いますね。
- 私 : 私も好きな歌を聴くと、幸せな感じがあります！また、悲しい歌を聞くと、自分の気持ちもちょっとダウンするみたいですね。でも、楽しい歌を聴いた時は、すぐに元気になりますよ！
- 洪 : 私もだいたいそう思います。特に悩むことがあるときですね。楽しいメロディーを聴くと、一時的に悩みを忘れられるみたいですからね！

森元さんと話し合い：

- 私 : 森元さんにとって、Jポップスは何ですか？
- 森元 : 私にとって、Jポップス全体が好きなわけではなく、歌手が好きなだけです。Jポップスは特別に意識していないと思います。テレビをつければ、Jポップスを聴くことができます。CDショップでも聴くことができます。ですから、Jポップスは私の生活の一部ですし、普通にあるものだと思います。空気みたいものです。
- 私 : 「特別に意識していないです」という意味をもっと詳しく教えて下さい。
- 森元 : Jポップスということの一つのものとして、全体を好きとか嫌いとか考えないですから、「Jポップスは何ですか？」について一概には言えません。また、Jポップスにはたくさんの歌手いますが、広過ぎて一つのものとして考えることができません。でも、好きな歌手がいますね。

私、廉さんと洪さんともJポップスを聴くことが趣味で、リラックスするができて、元気の素みたいですね。更に、日本の文化を知ることができるのもとても面白いと思っています。そのため、日本の物事をもっと知りたい人にとって、多分Jポップスはいい手段かもしれないと思います。しかし、森元さんの意見によると、Jポップスは彼女の生活の一部となっていて、生活の中に普通にあり、とても自然なものなので、特別に意識していないそうです。

## 2.2. Jポップスの魅力は何ですか？

- 廉 : 音楽だけでなく、色々です。例えば、歌手の化粧やスタイルや服はとっても派手

で、印象に残ります。それは一つ魅力だと思います。

私 : うん、Jポップスの歌手はスタイルのイメージを作ることが上手だと思います。例えば、倉木麻衣の最初のアルバムから2,3枚のアルバムは同じヘアースタイルで彼女の印象を強くアピールしました。このことで、聴く人に倉木麻衣という歌手を覚えてもらったと思います。

廉 : ところで、私は宇多田光の声が本当に美しいと思います。最初に彼女の声を聴いたとき、びっくりしましたね！彼女の顔はとっても若く見えますが、声はとっても成熟していると思いましたから。それがとっても魅力だと思います。

洪 : そうですか。私にとって、Jポップスの魅力は日本語の言葉と表現方法がよくて、発音がきれいだと思います。

私 : そうですよ！それは私が最初にJポップスを好きになった理由でした。それから、日本語も大好きになりました。

洪 : また、Jポップスの魅力は時代の変化をあらわしていると思います。昔はラブソングが多かったが、今は色々なテーマの音楽が多いです。例えば、SMAPの「世界に一つだけの花」のように誰かを励ますような曲もあります。それから、日本文化の流れも見ることができます。古い曲を新しい表現方法でリメイクしたり（例えば、贈る言葉など）、日本の物事を反映した曲などがあります（例えば、おさかな天国など）。

森元さんと話し合い :

森元 : Jポップスは歴史の中で変化していることが魅力だと思います。例えば、80年代・中森明菜の歌がとてもヒットした頃のJポップスと、90年代中期から小室哲哉の曲が大ヒットの頃のJポップスは違うと思います。Jポップスのメロディーや歌詞の感じが違うのです。20年頃前に、Jポップスのメロディーやリズム、雰囲気はちょっと演歌に近いと思います。でも、Jポップスはアメリカやヨーロッパや影響を受けて、段々と変わってきました。今もJポップスがどんどん変わっているみたいですが、もう出尽くしたと思います。でも、私はJポップスが日本語で歌われるところに魅力を感じています。

私 : 私も日本語の言葉と発音がきれいなところにJポップスの魅力を感じています。

森元 : そうですね。でも、私の意味はちょっと違うと思います。外国のポップスと比べた時に、日本語は自分の国の言葉だから、よく分かるし、歌詞が心に響いて、共感できると思いますから。外国のポップスも好きですが、やっぱり自分の言葉じゃないから、歌詞からメッセージを受け取るのはちょっと物足りない感じみたいです。

私、廉さんと洪さんともJポップスの魅力は色々あると思っています。私たちが考えたJポップスの魅力は歌手のイメージと才能、日本語の歌詞は発音がきれいなことと、時代や文化の変化をあらわしていることなどです。森元さんはJポップスは歴史の中で変化していることと、Jポップスが日本語で歌われるところに魅力を感じています。また、森元

さんにとって、日本語は自分の国の言葉なので、歌詞が直接心に響いて、共感できるようです。

### 2.3. Jポップスは人々にどのように影響していると思いますか？

洪 : 外国人にとって、Jポップスを聞くことで日本の文化が少し理解できると思います。そのため、日本に興味を持つことができると思います。でも、好きにならないかもしれません。

私 : そうですね。Jポップスが好きで、日本の文化が好きになってから、今は日本へ旅行することが大好きになった友達がいます。一方、Jポップスのメロディーだけが好きな友達もいます。彼女は本当にJポップスのメロディーだけにはまっていて、毎日何回もJポップスを聴いています。しかし、彼女は全然歌詞を見なくて、日本の文化もあまり興味が無いみたいですね。Jポップスの影響と意味を持つことはやっぱり人によります。でも、一般に言えば、確かにJポップスはアジアに影響があると思います。特に80年代に、香港にはJポップスの cover version の曲がたくさんありましたね。当時、私はあの cover version の曲のメロディーが好きで、すぐにあの原作の曲も探してきました。そのため、Jポップスの cover version の曲は80-90年代に香港には確かにとてもヒットして、香港の流行曲には欠かせないものだったと思いますね。

洪 : そうですね！そういえば、最近もたまたま、アジアで流行している歌手のダンスはJポップスの歌手のダンスに似てるように見えました。多分Jポップスのダンスがカッコイイですから、アジアの歌手はダンスを真似していると思います。それも影響だと思います。

森元 : 私にとって、Jポップスが無くても、多分あまり影響が無いと思います。でも、やっぱり子供の頃から、Jポップスは自然に耳に入ってきたので、無意識にJポップスの歌詞/言葉を覚えることがあると思います。そのため、無意識にJポップスの言葉を使って、考えることをしているかもしれません。ですから、Jポップスが無かったら、多分今私の使う言葉もちょっと違うだろうと思います。つまり、多分Jポップスは日本人へ無意識に影響しているのだと思います。Jポップスが無かったら、言葉遣い（又は生活）が多分違うかもね。

Jポップスの人々に対する影響と影響の程度は人それぞれだと思います。一般に言えば、魅力的なJポップスは他の国の人々に影響して、色々な国で段々と流行して行くでしょう。つまり、Jポップスを通じて、日本の文化を広めることができると思います。一方、森元さんはJポップスは日本人に対する無意識の影響があると思っています。

### 2.4. 「Jポップスは特別の意味を持っている」について

廉 : 私にとって、Jポップスは好きなもので、聞くことが楽しいです。Jポップスを聴くことは趣味です。

洪 : Jポップスはパートナーみたいです。いつもJポップスを聴きながら、勉強や仕事をしているのが好きですから。

私 : そうですか。では、Jポップスはあなたたちの人生に影響がありますか？つまり、Jポップスが無かったら、どう思いますか、どうしますか？

廉 : Jポップスは趣味ですけど、私にとって、Jポップスが無くても、今はあまり影響が無いと思います。もし明日からJポップスがなくなるなら、ちょっと惜しいと思って、ちょっと気分が悪くなるかもしれませんがね。でも、別に大きな影響がないです。私にとって、Jポップスはやっぱりリラックスできるものだけですから、Jポップスが無かったら、他の音楽を聴いてもいいと思いますから。

私 : では、廉さんは今日本語を勉強することとJポップスが好きなことは関係がないですか？

廉 : はい、全然ないと思います。しかし、私は日本のスポーツの漫画にはまっていますから、日本語を勉強することとは関係がありますね！

洪 : そうですか？廉さんの意見は私のとはだいたい同じみたいです。私にとって、もしJポップスが本当に無かったら、多分日常生活の楽しい趣味が一つなくなってしまふという感じでしょう。でも、私の人生に別に影響が無いと思いますが。私にとって、Jポップスは特別の意味を持っていません。廉さんのように、私は日本の漫画にはまっていますから、私にとって日本語に興味を持たせて、自分の人生にも影響を与えたと思います。

森元さんと話し合い：

森元：一般的に、私にとって、Jポップスは意識的ではなく、無意識の影響があると思います。Jポップスの言葉はメッセージみたいですから、Jポップスは自分が考えていることに影響しているかもしれません。つまり、Jポップスは私がもう一回色々なことを考える為のきっかけになると思います。また、Jポップスのメロディーが自分の気持ちに影響することもあるでしょう。

私にとって、Jポップスは特別の意味を持っていますが、Jポップスも好きな廉さんと洪さんにとっては、全然人生に影響が無いようです。彼女たちにとって、Jポップスが無かったら、他の事へ興味を代えることができると思います。しかし、彼女たちも自分のはまっていることは人生に影響があるそうです。森元さんはJポップスが無くても、あまり意識的な影響が無いが、無意識の影響があるかもしれないと思っているようです。森元さんと話し合い、Jポップスには直接意識に影響することや無意識に影響するところがあるなど、色々な異なった観点があることを知りとっても面白い経験をしました。

### 3. 結論

私はJポップスにはまって、日本語の勉強を決めました。私にとって、Jポップスは特別の意味を持っていますから、他の人(外国人と日本人)のJポップスに対する意見が聴き

たかったし、色々面白い話題を話し合うことができると思っていたので、このテーマを書きました。ディスカッションをしたことで、幾つかの結論が分かりました。

第一に、私はディスカッションをする前には、日本語を学んでいる留学生はみんなJポップスが好きだと思っていました。又は、日本の流行文化のJポップスはみんな日本に日本語を勉強に来た理由の一つだと思っていました。しかし、実はそうではありませんでした。外国人のディスカッションの相手にとって、Jポップスは趣味で、リラックスすることだけで、他の事へ興味を代えることができるようです。彼女たちにとって、Jポップスは人生に全然影響がないそうです。このことはちょっとびっくりしましたね。私は本当にJポップスが大好きだったので、人生に大きな影響を与えることになりました。やっぱり、Jポップスの人々に対する影響と影響の程度は人それぞれだと思います。それから、また国によって、影響の程度も多少違うと思います。アジアは日本との距離や文化がちょっと近くて、西洋の国々より、影響は大きいでしょう。

第二に、Jポップスの魅力について外国人と日本人では観点が違うことが分かりました。外国人の私にとって、Jポップスの魅力は日本語が外国語で、ちょっと神秘的な雰囲気、発音がきれいなところですが、多分日本人にとって、Jポップスの魅力は日本語は自分の国の言葉なので、日本語で歌われるのJポップスの歌詞からメッセージはよく分かるし、歌詞が直接心に響いて、共感できると思います。

第三に、外国人にとって、Jポップスから日本の文化を知ることができるのはとても面白いです。自分は良い例で、10歳からJポップスを聴くのが好きになりました。当時、本当に歌詞を読むことが好きで、段々と日本の文化が分かりようになりましたね。また、最近、Jポップスの主題は色々ですから、もっと日本の流行っている文化を反映できると思います。そして、日本人の相手の話で、Jポップスのメッセージは彼女や日本人の考え方と言葉を使うことに影響を与えているみたいですから、Jポップスはやっぱり日本の文化を反映していると思いますね。

最後に、Jポップスの無意識と意識の影響についてとても興味を引く結果が分かりました。日本人の相手と話し合いましたから、Jポップスには無意識と意識の影響があることを発見して、ちょっと驚きました。以前の私は全然このようなことを考えていませんでしたから、このことによりJポップスに対する新しい考え方を得ました。このことはJポップスに対する外国人の能動的な対応と日本人の受動的な対応の違いがあると思います。なぜなら、日本人にとって、Jポップスは生活の一部であり、無意識に日常生活に根付いたものとなっています。

#### 4. 終わりに

私はこのディスカッションを通じて、色々な人とお話をすることができて、色々な考え方を知ることができ、面白い経験でした。そして、このことは私にJポップスに対する新しい見方を知るきっかけになりました。ディスカッションの相手をしてくれた廉美仙さん、洪嘉恵さん、森元桂子さん、本当にありがとうございました！また、この授業がとても面白く、楽しくて、これからの私の日本語の勉強に良い刺激を与えてくれました。

# 音楽と私

稲垣秀明 テッド  
グループ1 (なつさる)

## 目次

1. 動機	1
2. ディスカッション	2
2. 1 アイリーンをインタビューした後の印象	4
2. 2 イミョンをインタビューした後の印象	6
2. 3 まとめた印象	7
3. 結論	7
4. 終わりに	7

## 1. 動機

「あ、お母さん帰って来た。やばい！ピアノをひくふりをしなきゃ！」  
私は七歳の時こういうことがよくあった。五歳から、母は私にピアノを習わせ始めたが、私は自由がないので、反発していた。毎日私は二時間ぐらいピアノをひかなければならなかったもので、その時は本当につらかった。さいわいにも母は仕事があったので、私がピアノをひいているかかくにはできなかった。そこで母が家に帰ってくるとき、私はピアノのあるところまで走って行って自分がピアノを必死に練習しているかのように、ピアノをひいているふりをすることを思いついた。母は私が練習をしてないことにぜんぜん気づいてなかった！私はてんさいだ！この計画は最高だ！とその時思ったものです。

しかし私のうそはすぐにばれた。ピアノの先生は私が練習していないことに、気づき始めたのだ。やばい。母は気づいていなかったけれど、先生が分かってしまったことで、私はたった二時間じゃなくて、ピアノをちゃんと練習しようと思心にきめた。あとになって思うのはおさない時私は音楽に全く興味がなかった。そして、おさないころのわたしの考え方はおかしいと思う。

最初私はピアノをひくことにとても反発したが、練習するうちにだんだんピアノが好きになった。八年間ぐらいピアノをひいたあとには、他の楽器のことも気になってきた。そこで、高校の時、ピアノをやめて、ドラムとオーボエを始めた。結局ドラムもオーボエも3年間ぐらい続け、大学に入る前両方ともやめた。

たえず私は音楽にかこまれていたので、小さいころからずっと音楽かんしょうが

私のしゅみだ。いつも音楽を聞いたら、さまざまな感情がわきおこる。例えば、うれしい時、音楽を聞くと、もっとうれしくなれる。そして、悲しい時、楽しい音楽を聞くとその悲しい気分から立ち直れる。しかし悲しい時せつない曲を聞くと、もっと悲しくなることもある。私は恋人がいた時（今いないので申し込みたければ、どうぞ。）彼女に夢中で、ラブソングをよく聞いて、いつも私はその歌詞にきょうかんしていた。うまくあらわしている詞があれば、私は「そうそう！その通り」とよく叫んだものだった。でも、恋人と別れた時ラブソングを聞くと、恋人を思い出して、悲しくなった。音楽は人の感情にえいきょうをあたえると思う。

大学に入って以来楽器を一度もひいてない。自分のなかで今は歌うことが気になりはじめた。二年間ぐらいアカペラのグループに入っていたのだが、とてもたのしかった。そして、私は作曲にも興味があったので、曲を作りはじめた。今日本ではRNBのようなジャンルはあまりないし、私はRNBの曲を作ることに夢中になっている。

そして大学に入ると、音楽は世界共通の言葉だということに気づき始めた。私は色々な国の音楽をよく聞いて、その国の言葉がわからなくても、感動する。歌詞の意味も大切だと思うけれど、メロディや歌手の歌い方だけでも、私の感情はえいきょうをうける。他の例として私の友達と恋人の話があげられる。彼の恋人は英語をうまく話せなかったので、彼の友達や友達の家族とコミュニケーションの問題がよく起きた。でもいつも彼女がピアノをひくことで、みんなが彼女のその時々を感情を理解した。

おさないころピアノをひくことが本当にいやだったのに、今ではすべての音楽にとっても興味を持っている。そしてできることならば、将来音楽関係の職業につければいいなとさえ考え始めている。なぜ音楽にたいして、こんなじょうねつをもっていかと聞かれたら、音楽は私にとって必要なことだと思うからだ。音楽はなければ、この世界は本当に静か過ぎるし、つまらないと思う。音楽のない世界など私にはそうぞうできない。

## 2. ディスカッション

何時なのか知っている？うん、そうそう！ディスカッションの時間なんだよ！あれっ？なんでしってるの？オマエらは超能力があるの？コワエー！

インタビューした相手はジャパニーズポップスが大好きなアイリーンという方とやさしいイミヨンという韓国人です。音楽について、どんな意見があるのか、調べましょう！では、インタビューの部分を始めましょう。

---

---

1) 一般てきな音楽について、どうと思いますか？

アイリーン：実はジェイポップス以外、他の音楽は興味がない。

私：なんで日本の音楽が一番好きなの？

アイリーン：全部が好きだけど、特にメロディが一番好き。

2) 音楽に関して、特別の体験したことがありますか？

アイリーン：うん、10才の時、ジェイポップスを初めて聞いて、すごく気に入った。その時から、ジェイポップスに夢中なの。

私：なんで、ジェイポップスがすぐ気に入ったの？説明できる？

アイリーン：メロディと歌い方はすばらしいので、すぐ感動した。そして、ジェポップスがそんなに気に入ったから、日本の文化も気になった。

私：アイリーンにとって、他の音楽はジェイポップスより、何の違いがあるの？

アイリーン：他の音楽のメロディはジェイポップスよりよくないと思う。

私：じゃ、アイリーンにとって、音楽について、メロディが一番大切だと思う？

アイリーン：うん。いいメロディがなかったら、感動できない。

私：そうなんだ？へえ。でも、僕の意見なら、まあ、何でもない。いわないでおく。

3) どの音楽一番よく聞いていますか？

アイリーン：もう答えたけど、ジェイポップス。

4) 三番の質問がつづいて、なぜその音楽が好きなのですか？

私：これも言っていたね。やっぱり、メロディのことなのだね。

5) あなたにとって、音楽は生活必要なものなのですか？

アイリーン：うん。必要なもの。毎日、ジェイポップスを聞いて、友達みたいなものなの。

6) 音楽は人々の気分に影響すると思いますか？

アイリーン：うん、音楽は人の感情に影響している。悲しい時、音楽に聞いたら、落ち着けるようになる。

私：アイ シンク ソウ トゥー。

7) 僕の意見なのですが、音楽は共通の言葉だと思います。あなたは どう 思いますか？

アイリーン：私もそう思う。例えば、私はカントン語が分からないけど、聞いたら、感動出来る。

私：うん、僕も他の国の音楽を聞いたら、歌詞が分からなくても、歌手の表現したいことが理解出来る。

8) 歌詞が分からない曲を聞いたら、感動出来ますか？

アイリーン：はい、先に言ったけど、歌詞が分からなくても、感動出来る。初めて日本の音楽聴いた時、歌詞や歌の内容分からなかったけど、すごく好きになった。そして、日本語を勉強して、ジェイポップスの歌詞が分かるようになって、うれしかった。その時から、ジェイポップスがもっと気になった！

9) 音楽がない世界がそうぞうできますか？

アイリーン：そうぞうできない。音楽がなかったら、この世界はくるしいし、さびしくなる。

私：そうですね。僕もそうと思います。世界は本当に静かになり過ぎると思う。こううんにも、音楽が世界に存在しているよ。

アイリーン：そうね。

---

## 2. 1 アイリーンをインタビューした後の印象＝

アイリーンはジェイポップスしか興味がないと言いました。それはいいと思いますが、私は音楽全般が好きです。音楽のジャンルについては、もちろん好みがありますが、他の音楽もかんしょうしています。そして、アイリーンは日本の音楽のメロディが一番気に入ったと言っていました。これは面白い点だと思います。なぜかといえば、私の意見は他の音楽と比べると日本のメロディが好きじゃないからです。最近、日本の音楽はうまくなってきたので、今の意見は違いますが、日本のメロディはいつも同じ雰囲気だと思っていました。しかし、メロディも大切だと思いますが、えんそうのし方と歌い方は、最もふかけつなことだと思います。ですから、私はどんな音楽を聞いても、感動出来ます。さらに、アイリーンは日本の音楽のメロディは最高だと思っているので、その音楽だけに夢中なのです。私とアイリーンの考え方は違いますが、一つのことをきょうゆうしています。それはお互いに音楽に対してじょうねつがあるということなのです。

---

1) 一般てきな音楽について、どうと思いますか？

イミヨン：音楽を聞くのが好き。いい曲を聴いたら、落ち着けるし、リラックス出来る。

私：そうだね。それはそう。私は寝られない時、いい音楽を聴いたら、すぐリラックス出来て、寝られるようになる。いい音楽は本当に落ち着かせる物だね。

2) 音楽に関して、特別の体験したことがありますか？

イミヨン：ないけど、聞いたことある。私の友達は幼いからマリンバという楽器をひいている。でも、いきなり手の痛みがでてきて、ひけなくなってしまった。そして、ちりょうをするため、音楽を聞いて、手の調子はだんだんよくなってきた。

私：すごくない、それ！まちたまえ！今の話、本当なの？

イミヨン：本当！たまに音楽は薬みたいなものなの。ぐたいてきに言ったら、音楽は私の友達をちりょうしてくれた。

私：そうなんだ！そういう話、一回も聞いたことないんだ。勉強になったな！

3) どの音楽一番よく聞いていますか？

イミヨン：静かなタイプやバラードを一番聴いている。

私：どこの音楽を聴いている？

イミヨン：韓国の教会の音楽。

4) 三番の質問がつづいて、なぜその音楽が好きなのですか？

イミヨン：なぜなら、教会の音楽を聴いたら、心がらくになれるから。

私：どんな影響があるの？

イミヨン：私はキリスト教だから、教会の音楽聞くと、キリストの神様がいるという感じを思い出す。そして、心配している時や悩みがある時、音楽を聴くと、私の気持ちが安定する。私は一人ぐらしだから、そういう気持ちがけっこうある。

私：じゃ、いさんの生活にとって、音楽はかなり大切なことだね。

5) あなたにとって、音楽は生活必要なものなのですか？

イミヨン：音楽は私の親友みたい。いつでも、コミュニケーション出来るし、私はいつでもなぐさめられたい時、音楽にたよる。

私：ああ！いいことを言っちゃった！大感動！！！！

6) 音楽は人々の気分に影響すると思いますか？

イミヨン：もちろん。時々、音楽のせいで、しょうどうてきな行動が起こる。

私：ええ？どういうこと？

イミヨン：Gloomy Sunday という曲を知っている？

私：いいえ。どんな曲？

イミヨン：その曲はとてもせつないから、たまにだれかがその曲を聴いたら、自殺するということが起こる。でも、色んなせいかくを持った人がいるから、音楽はみんなに同じように影響してないと思う。とりわけ、その人のせいかくはつめたいとかね。

私：そうだね。

7) 僕の意見なのですが、音楽は共通の言葉だと思います。あなたはどう思いますか？

イミヨン：そう思う。

私：もっと詳しいコメントを、いただけないでしょうか？（笑）

イミヨン：世の中で、色んな人生がある。そして、外国の音楽を聞いたら、しらなかったことが分かるようになった。例えば、私は他の国の音楽を聞いて、最初に何も理解出来なかったけど、その音楽をくりかえして聴いたら、その歌手の気持ちが感じられた。

8) 歌詞が分からない曲を聞いたら、感動出来ますか？

イミヨン：うん。音楽を楽しむには、メロディとリズムが大切だと思うけど、感動するためには、歌い方と楽器のほうが大切だと思う。

私：ピンポン。僕もそう思うよ！きみが大好きデース！

9) 音楽がない世界がそうぞうできますか？

イミヨン：いいえ。でも、この質問にたいして、私はせんにゆうかんがある。音楽のことをぜんぜん知らなかったら、音楽がない世界がそうぞう出来ない。

私：そうですね。おなじようなことなんですけど、さっき言ってくれたのは恋愛みたいなことだよ。心から愛することを経験したことがあったら、恋愛がない世界をそうぞう出来ないじゃない？

イミヨン：テッド！

---

## 2. 2 インタビューした後の印象＝

音楽について、イミヨンと私は同じジャンルが好きだということに気づいてきました。音楽は親友みたいな生き物だというのは面白いと思いました。私もそういうふうに思っています。時々、友達がいなくて、さがしたいけど見つけれない時、音楽にたよります。そして、感じている痛みや喜びをうたえることが出来ます。そして、音楽の衝動的な影響について、私は初めて聞いたときびっくりしました。音楽の影響力はそこまで、そうぞうしませんでした。音楽は本当に多大な影響力を持っています。

---

## 2. 3 まとめた印象＝

アイリーンとイミヨンと音楽について話しました。その二人の意見は私の意見とかなり似ていました。私とアイリーンとイミヨンの日常生活にとって、音楽は必要なものです。理由は違いましたが、音楽は人々の生活に本当に影響していると思います。みなさんの人生は音楽にかこまれていると思います。気付かなくても、音楽が存在します。自然に音楽が聞こえてきます。てつがくてきに言ったら、音楽は地球のしんぱくです。どこに行っても、どんな言語であっても、音楽を聞いたら、一つのことをぜったい起こると思います。それは音楽や歌い方を聞いただけで、感動出来るし、今の気持ちに影響するということなのです。先の言った理由で、音楽は共通の言語だとみなしています。人間が言語を発展させなかったら、コミュニケーションのために、言いたいことを音楽で伝えると思います。音楽をちゃんと聞いたら、どんな気持ちがあるというのか完全に聞こえると思います。

## 3. 結論

私と音楽はナイスカップルですね！私の子供の時を思い出すと、いつも音楽の思い出が流れています。楽器をえんそうしなくても、音楽は必ず私の人生に影響していると思います。音楽はいたる所にあります。私は自分のことを表現するのが好きですから、音楽が好きだというのは当然です。なぜかというとなんか音楽は共通の言葉であり、誰でも音楽を聞くと、曲から気持ちを理解出来るからです。そして、なぜ私が作曲のことに興味があるかを考えてきました。その理由は私にとって、音楽は大事なものですから、音楽を作ったら、私と音楽と一体化できるからだだと思います。そして、人によってていどは違いますが、音楽はきっと人々の人生に影響を与えるから、自分の作曲した曲で、他の人の気持ちに影響を与えたいです。だれかが悲しかったら、私の音楽や他の音楽を聞いて、落ち着かせたいです。そして、愛する時、私の音楽や他の音楽を聞いたことによって、聞き手が感動することをのぞみます。音楽は人間の人生にあみこまれていて、とりわけ、私の人生にあみこまれているのです。

## 4. 終わりに

私と何が強く繋がっているでしょう。あなたとは？このレポートで、自分のことをもっと詳しく分かるようになったので、よかったですと思います。正直に言えば、普通の宿題は退屈でつまらないと思いますが、この宿題についてはそう思いません。みよ、私のクラスメート、インタビューした相手、やさしく、楽しくてくれて、どうもありがとうございました。この経験は忘れられません。

## 夢と私

エンヘアマガラン アルタイ/エクリ

### 目次

- ① 動機
- ② デイスカッション
- ③ 結論
- ④ 終わりに

この世に何の夢も持っていない人はいるのだろうか。多分いないだろう。生きている人々は皆それぞれの夢を持っていると思う。小さな夢があれば、大きな夢もある。実現しやすい夢があれば、なかなか実現出来ない夢もある。どんな夢であろうが、それは私たちの希望である。

私はモンゴルで生まれ、モンゴルで育った。他の国の子供たちがどう思っていたのかよく分からないが、私の周りの子供たちが「大きくなったら学校の先生、医者さん、運転手さん、パイロットなどになりたい」と自分たちの夢を話し合っていた。しかし、私は周りの子供たちと比べて、ちょっと変わっていた。なぜならば、私はいつも「大きくなったらスーツを着た外交官になる」と言っていた。聞いた人々はもちろんびっくりしていた。「大人の私が考えたこともない夢を持っているね」と言っていた人もいた。子供の夢というのは変わりやすいものだが、外交官になる私の夢がどんどん大きくなり、変わることもなく続いた。

14歳の時、私はおばあさんと一緒に初めて日本に来た。当時、おじさんが在日本モンゴル大使館に勤めていたので、おじさんの家に三ヶ月ぐらいホームステイをした。おじさんのスーツをきちんと着た姿、ペラペラと話せる日本語、国際のことなら何でも語る頭の良いおじさんを毎日見ている内に、私の夢がたまってきた。

外交官というのは、自分の国を他の国々と平和で結びつける大きな橋である。つまり責任のある地位だ。ということで、私は高校を卒業して、大学に入る時“国際関係学部”を選んだのだ。

“外交官になる”という子供の私の夢、叶うだろうか。今は誰も答えることが出来ない。誰でも出来るわけでもないこの仕事は、私に向いているのだろうか。答えがどうであろう、私は自分の夢は捨てない。実現させるために、自分なりに努力してみようと思っている。今日私が日本語を勉強していることもその努力の一つである。

私にとって夢は、未来への道を教えてくれるものだ。だから夢を持っている人というのは、希望も持っているだろう。

## ディスカッション

私：金曜日総合のクラスでは、自分の好きなテーマで作文を書く勉強をしています。私のテーマは自分の夢についてです。ということで、叔父さんと話し合ってみたいです。

叔父さん：いいよ。あなたの夢をずっと前から知ってたんだから。

私：えー、私が叔父さんに言いましたっけ？

叔父さん：14歳のころ初めて日本に来た時、そう言ってたよ。

私：あー思い出した。じゃそうしたら話を始めてもいいですね。私が叔父さんに色々な質問をします。叔父さんも私に質問していいですよ。始めますか？

叔父さん：そうしよう。

私：叔父さんは田舎で生まれ、田舎で育ったことを分かりますが、どうやって外交官になったのかは分かりません。とても興味深々なので、話してくださいませんか。

叔父さん：そうですね、私は子供の頃からずっと田舎で育った。ふつうのモンゴルの田舎の生活をしていました。モンゴルの伝統的なゲール、羊、大自然など。ある日両親のおかげで初めてモンゴルの首都になるウランバートルに行くことになったのだ。本当に嬉しかったよ。今の時代と比べると、外国に行くのと同じだったよ。首都で学校に通い始め、さらに進学もした。大学に入って、なんだが今までも分からないけど日本語を選んだのだ。卒業後就職もした。仕事をしている内に、またロシアの外交官アカデ三に留学する機会があって、2年間専門の勉強をした。

私：ということは、外交官の仕事は叔父さんの夢ではなかったんですか？

叔父さん：もちろん。当時、外交官という言葉も分からなかったんだもの。

田舎生まれで、外交官という言葉さえも知らなかった人が、今立派な外交官になれている。何だか、想像しにくいことだ。本当に頭が良かったからなれたの

か、それともただラッキーだったのか。

私：そうすると、叔父さんの夢はなんだったんですか？

叔父さん：夢なんかあまり持っていなかったような気がする。ただ、たまに車を見かけると、運転士さんになりたいなと思っていた。

子供の時、私の周りの友達にもそういう夢をもっていた子がたくさんいたので、それはそんなに驚くことじゃなかった。

私：でも、叔父さんは今、運転していますよね。

叔父さん：まあ、たまにするけど、まだ下手だね。

私：外交官の仕事は何年になりますか。

叔父さん：23歳から数えると、もう32年目だね。

32年目というこの数字を聞いて、自分の夢でもなかった仕事をこんなに長く続けることができるなんて、すばらしいと思った。やり始めたことを最後までやると決心してみたいだ。

私：ずいぶん、長いですね。

外交官になるためどうすればいいんでしょうか。

叔父さん：とりあえず、子供のころからもらった知識が大事だよ。あとはもちろん自分の態度、色々な位置にすぐなれることだね。また、国際ニュースをこともよく知ってたらプラス点になるよ。

私：色々な位置にすぐなれることというのは...？

叔父さん：たとえば、仕事で戦争をしている国、また貧しい国、色々な国を訪れるのがよくある。だから新しい所にすぐ慣れるのが大事なことのひとつだ。自分のことだけ考えて、断るわけにもいかないし。

今まで私もそう思っていた。自分の国だけではなく、他の国々の平和、安全

のため外交官はどんな状況の国でも行かなければならない。わがまま言っては行かない。

私：私が外交官になれると思いますか。

叔父さん：もちろん、この世には頑張れば出来ないことってないんだからね。国際関係を専門として4年間勉強したし、それにあなたの夢もあるし、外交官になれるには近いと思うよ。私は、応援するから。

そうです。私は夢を叶えさせるため国際関係を四年間勉強した。いつか自分の夢が叶うだろうと信じている。近くにあることも感じている。夢のために最後まで頑張ることができると思った。

私：ありがとうございます。

外交官の目的というのは何ですか。

叔父さん：一番大事なことは平和を作って、それを守ることだね。あとは、色々な国々と関係をうまく行かせること。外国のニュースを毎日見て、それを毎日政治に送ること。ニュースを伝えるとって、二つの国の関係を戦争までにしてはならない。

叔父さんと意見が全く同じだ。この世に戦争は、一番いらぬものだ。なぜこの世界の多少の人々は世界の平和の維持を守ることが出来ないのだろうかと思う。

私：外交官の仕事の、ほかの職業と違う点は何だと思いますか？

叔父さん：色々な国籍の、色々な人々に出会うことかな。なかなかいい仕事だよ。

色々な国籍の、色々な人々に出会い、世界の国々の政治、経済、社会問題に9つについて語るのが上級の仕事だなと思うようになった。

私：ぜひ夢を叶えさせたくまりました。

でも叔父さんは、自分の人生の半分ぐらい日本で過ごしたことに後悔しますか。

叔父さん：たまにそう思う時もあるよ。でも、自分の国のためいいことやっているとすると満足する。エクはどうすると思う。

私：私はまだ学生ですけど、自分の国のためたくさんいいことしたいという気持ちはありますよ。だから外交官になりたいのです。

叔父さん：夢を持っていれば、いつか叶うだろう。

## 結論

この世には、色々な国籍の、色々な人々が住んでいる。皆にそれぞれのやりたいこと、夢があると思う。ただ夢を「夢」として持っている人、また夢を「将来、未来」と思い、それを叶えさせるため一生懸命に頑張っている人もいる。私は、皆のように色々な夢を持っている。だけど、一番大きい、ぜひ叶えてほしいという夢が一つある。それは、将来「外交官」になることだ。このレポートをきっかけで、自分の夢について「外交官」の叔父さんと話し合ってみた。色々な面白いことを知ることができて、とても良かったと思う。私にとって、就職前の一つの経験になれたとも言える。「平和を作って、それを守り続ける」という叔父さんの一言が心に残ることができた。人間社会には平和が何よりも大切だねと思った。私が外交官になることができて、できなくても、「平和」を作って生きて行くことができるだろうと気が付いたのだ。

## 終わりに

この三ヶ月の間本当に楽しかった。他の人々にこのクラスはつまらないかもしれませんが、私にとっては本当に楽しくて、私の五つのクラスから一番友達のような関係が出来たクラスだったと思います。私たちに勉強教えて下さった三代さんとちえさんに心から感謝いたします。この短い間いろいろな楽しかったことがあって本当に良かったと思います。また機会があれば、お会い出来る日を楽しみにしております。皆さん、どうもありがとうございました。

なつさるの皆さんのことを絶対忘れないよ。

# サッカーと私

チャン ニック  
グループ1-なつさる

## 目次

1. 動機
2. ディスカッション
3. 結論
4. 終わりに

## >> 動機 <<

えいふで が か ことば ことば  
絵筆は画家にとって言葉です。うた かしゆ ことば  
歌は歌手にとって言葉です。サッカーは私にとって言葉で  
す。

わたし  
私はいままでいろいろなところにひっこしてきました。そこで私はおおくのひと  
にであいました。わたし はなす ことが ながて  
た。私は話すことが苦手ですが、サッカーがあればともだち  
ができます。はじめてにほん  
きた  
とき、私はにほんご はな  
が話せませんでした。しかし、ボールをとおしてともだち  
できました。サ  
ッカーはきょうつうご  
共通語です。

サッカー場 じょう  
にいるとき私 わたし は じゆう かん  
を感ずります。せかい  
にはたくさんのせいげん  
があります。だから  
わたし  
私はいつもなに もんだい  
があると、サッカー場 じょう  
にいきます。もちろんもんだい  
がなくてもサッカ  
ー場 じょう  
にいきます。わたし ちい  
が小さいとき、りょうしん わたし いえ  
は私が家にはいないときはサッカー場 じょう  
にいます。しば  
の上でねると、とても気持ちがよくかったです。サッカーボール ふたつ  
と二つのチームがあれば、サッカー場 じょう ゆめこうじょう  
は夢工場になります。ゆめこうじょう  
とは、ゆめ つく  
るところです。  
サッカー場 じょう ひろ  
が広く、しば  
がいいにおいで、私はそこでま おど  
る時、じゆう かん  
を感じます。

しかし、サッカーにも悪い面があります。サッカーは勉強と違って、練習した分だけ成果が返ってきません。なぜなら、サッカーは、個人ではなく、チームのメンバーと協力しなければならないからです。もし、あなたがいつも自分のことを、ヒーローだと思ったら皆はあなたと、プレイできません。サッカーをするときは個人ではなく、チームとして行動することが大切です。勝つための秘訣は、自分のことだけを理解するのではなく、チームメイトのことも理解することです。ベッカムになるために練習するのは十分ではありません。

サッカーは私の人生を彩ります。私はたくさんの人生の絵をサッカー場で描きました。いくつかの絵は悪く、またいくつかの絵は良かったです。サッカー選手になることは、実現不可能な任務かもしれません。しかしサッカーの世界にはライバルがたくさんいるから、私はギブアップしません。

## >> ディスカッション <<

北井：サッカーをやめたいと思ったことはありますか？

ニック：一度もありません。他の事ではやめたいと思ったことがある。しかし、サッカーをやめたいと思ったことはありません。他の人が私より上手だと、私はもっと練習しようと思います。

北井：ああ、それでニックはいつも一生懸命練習しているんですね。ではどうやって チームメイトと協力しますか？

ニック：サッカー場の外でチームメイトともっと仲良くなるために話します。サッカー場の中ではチームメイトをいつも励まします。そして、決して失敗しても非難しません。

北井：そういえば、ニックがほかの選手に怒鳴ったところを見たことがありません。ところでサッカー選手になりたいですか？

ニック：はい。

北井：それじゃ、Jリーグも好きですか。

ニック：はい。とくに北澤選手が好きでした。

北井：では、最後に、これからもサッカーを続けたいですか？

ニック：サッカー選手の命はとても短いので一生この夢を追いかけることはできません。私は今まで10年サッカーをしてきました。今年はわたしにとってプロサッカー選手になるための最後の年です。

北井さんと話して、もっと練習をしなければいけないとおもった。また、今年が最後のとしなので、もっと、人生を真剣に考えなければならぬとおもった。

### >> 結論 <<

私はサッカーをとおしてたくさんの方のことを学びました。またたくさんの方に出会いました。サッカーをとおしてリーダーとして自分を成長させようと今も努力しています。日本でもイギリスと違ったサッカーの特徴をすることができました。これかもサッカーをいろいろな国に行き、いろいろな人と出会い、つづけていきたいです。

### >> 終わりに <<

ディスカッションはとてもむずかしくて、言いたいことをなかなか相手に伝えることができなかった。しかし、みんなで一緒にサッカーをしたら、多分私が言いたかったことが伝わるとおもいます。

この授業をとおして、言葉でサッカーと私の関係をかんがえることができ、とてもたのしかったです。

# 「トラベルと私」

エリス シリン

グループ1

1. 仮説(かせつ hypothesis)と動機(どうき incentive)

2. ディスカッション

3. 結論(けつろん conclusion)

1. 仮説と動機

itchy feet

私は子供の込、両親と一緒にヨーロッパのいろいろな国を訪れた(おとずれた visit)。その時、自分でも気付かない(きづかない unaware)うちに旅行をする事に興味を持った。そして、旅行をするのは面白くて楽しいことだと思っていたが、私にとって一番大切な事は国の文化とかではなかった。一番大切な事は学校に行かなくてもよい事だった。

子供の込、それまでの経験が足りないため、比べること(くらべること

comparison)は新しい経験で値打ちがある(ねうち worth; value)かどうか正しく判

断できなかつたと思う。その理由として、私は両親に面白い所に連れられたのにもかかわらず、時間と活力(かつりよく energy)を浪費して(ろうひする waste)国の文化だとかを理解(りかい appreciate; understand)できなかつた。私にとって、海外(かいがい overseas)旅行は毎夏休みのことだけだと思っていた。もちろん皆が夏休みに外国へ行けるわけではないが、しかし、大学時代に友達から新しい旅行方法を教えてもらった。「トラベリング」だ。「トラベリング」は両親や先生、規則などに捕われぬ方法だ。この方法は面白そうだったので、すぐに友達と一緒に航空券を買って、アフリカへ行った。そして、私にとってアフリカが初めての「トラベリング」の経験となった。その後いろいろな国へ行った。自分の生活の中にその「トラベリング」があるという事は最高だ。これからも将来に行きたい国をずっと考えているので、毎月二万円ずつぐらい貯金をしているのだ。旅行をするのはリラックスすることだ。大体(だいたい)、1週間から2週間までという期間である。この間、同じホテルにいるホテルのスタッフと話し、ホテルの料理も食べたり、プールサイドでリラックスしたりする。いいな！

トラベリングという言葉の意味は休みではない。教育と経験の時間だ。いつもの旅行よりも長いので、2週間ぐらいから1年ぐらいまでだ。現地の人に会え、本場の料理が食べられ、毎2、3日は小さなリュックサック(rucksack)に簡単な生活用品を入れて次の所か未知なる体験を探しに行く。

私にとって旅行をする事は他の国の文化や生き方だけな?shy;、自分の国の文化や生き方をも習うと思う。例えば、貧しい国に三か月滞在すれば、自分の考えが変わってくる。そして自国の社会(しゃかいsociety)の大切な事よりも、もっと大切な事が見えてくる。例えば、今日十分な食べ物があり、きれいな水があれば皆心配しなくてもよいのだ。しかし、国へ戻ると、毎日皆が朝ご飯、昼ご飯と食事が食べられ、蛇口(じゃぐちtap)からきれいな水が出る。貧しい国の人々は今日のために生きているが、私の国人々は明日の日に生きている人が多いと思う。貧しい(まずしいpoor)国の人には物がありふれた先進国の人よりも幸せそうに見える。それはトラベリングを通して私が学んだ事だ。

結論(けつろん)として、私は旅行をする事が一番好きなようだ。そして私と旅行の関係が強いのでこのテーマを選んだ。

## 2. ディスカッション

### 旅行することについて

#### ディスカッション 一回目

ディスカッションの相手:武さん. 武さんはグループ四の ボランティアです.

#### 1. 旅行することは貴方にどう言う意味ですか。

私: 私にとって、旅行することは自由になったよ うな感 じになります。

武さん:そうですね

私: 他の国へ行ったら、毎日 新し経験 があるし、考えることの時間が増え、帰国する時には気分をさわやかにします。refresh

武さん: そうですね。私にとって旅行することはリラックスするチャンスが多いと思います。

私: そうですね。いいですね。

武さん: 問題なのはあれば休みへ 行ったらずっと忘れたいんですよ。十年前に私は夫と幼い子供達とUAEへ住んでいました。UAEですから、女性が一人で町へ行くのは危ないんですよ。タクシーでも危ないんです。でも、まだ自由がほしいので タクシーに乗っていました。

私: そうですね。大変そうです。国にとって自由なことの意味が違うと思うでしょうか。

武さん: その経験の後、帰国したら自分の国の自由を理解するようになります。

私: そうですね。私は最初の旅行の後、同じ経験がありました。アフリカの旅行し、帰国したら自分の国の自由を理解するようになります。アフリカでは、女性が一人でタクシーに乗る事が安全のだし、健康管理ではありません。ですから自由ではないと思っています。

武さん: 日本やイギリスへ住んでいる人は特権(とっけんprivileged)があると思っています。

私: そうですね。色々な自由がありますね。

**私と武さんも外国に興味があります。その為、ディスカッションは面白かったです。武さんの旅行話も面白かったです。私と武さんも全然違う経験がありますから帰国したら自分の国の自由を理解するようになります。**

## ディスカッション 二回目

ディスカッションの相手: 武さん.

武さん: 初めての会話の後、旅行することは私にとって何かとっていました。

私: そうですね。何か思っていましたか。

武さん: 私は家族がいるので旅行しなくなったら回りがある、色々な国の料理をレストランで食べたり、知らない人々と会話をしたりします。

私:そうですか。それはいい意見だと思います。私も、最近同じ意見がだんだん多くなってきました。自由になりたいし、気分転換をしたいし、他の国へ行かなくてもいいかもしれませんが、旅行後いつも新しい考え方を学ぶので旅行は良い事だと思います。旅行することはお金も時間もかかるので、旅行をする意見が変わってきました。まだ武さんさん国へ行きたいんですが、仕事と家族が一番大事になってきました。

武さん: エリスさんが新し経験が好きなので事と家族中に毎日新し経験が探せられると思います。

私:そうと思います。武さんディスカッションありがとうございますとても面白かったです。

私に武さんの新し考え方はとても面白と思います。武さんの意見を聞た後、私の意見が段々変わってきました。武さんの意見は私の意見を新鮮にします。

### 3.結論

私にとって旅行をする事が特別の意味を持っていますから武さんとのディスカッションは楽しいと思いました。私は旅行することが好きですが、旅行することはお金と時間がかかりますので武さんの意見は私にとっても面白くて新鮮でした。時間とお金があれば、誰にでも旅行することを薦めます。外国にいたら教育な経験ですから、自分について色々な国と自分の国の文化などが学べます。しかし、時間とお金がない場合は武さんの意見を薦めます。凄くシンプルな事ですが、とても新鮮です。国と自分のために自由な事はとても大切なことだと思います。国によって国より自分の自由のほうが簡単になれるから。

# テレビと私

洪 紫永

## 目次

- 1．動機
- 2．ディスカッション
- 3．結論
- 4．終わりに

## 動機

“私はテレビが好きです。”といったら“私の頭は空っぽです。”と言うようで、今まで誰の前にもこんなことを口にしたことがない。でも私はテレビが大好き。

一ヶ月前に日本に来て、テレビなしの生活ももう一ヶ月になった。私は新しい人と新しい環境があまり好きではないが、韓国にいた時は日本に来たくて来たくてだまらなかつた。そのようなら、頑張らなければならぬのに何もしたくない。何かをやっていてももうまくいっている気もしない。その時、やっと気がついたのが... テレビ。“あ、私にテレビがないんだ。まさか、そんなばかなことがあるもんか。”自分を責めながら、私にとってテレビはどんな意味があるのか、ちょっと考えてみた。

私は人との付き合いが苦手な人で初めて会った人とどんな話をしたらいいのかいつも迷っている。今住んでいる寮にはいろいろな国から来た留学生が多い。新しい人に会うのが好きな人もたくさんいるかもしれないが、私はいろいろな国の人と会って嬉しいと思うより、‘あ！私、どうしよう’と心配する。それでフロアメイトに会っても、“おはようございます”“こんにちは”“こんばんは”と丁寧にあいさつして、すぐ黙ってしまう。私が私を寂しく作っているのは分かるが、仕方がない。

3週間前、ちょっとテレビでも見ようかと思って寮のホールに行った。ホールに人がいっぱい。びっくりしてこっそり部屋に入ろうとした途端、同じフロアのイラン人が私を呼んで空いている席を指差してくれた。ああ、ありがた迷惑。気まずいと思いながらテレビを見ていた。私の好きなテレビなのに全然おもしろくない。その時、コマーシャルでBoAが出たので、“あ、BoAが出た”と韓国語で言った。それを聞いて隣に座っていた人が声をかけてくれた。嬉しい。“どこから来ましたか。”から始めなくてもいい。実は彼女の歌を聴いてみたこともないが、顔を知っていてスムーズに話すことができた。そのうちに気軽に話し合ったりして、その学生がミクロネシアからきたことやいろいろなことが分かった。

テレビがあれば、どんな話をしようかと迷わなくてもいい。その問題が解決できたら、私は気楽になって話せる。テレビはいつも私に気楽な雰囲気を作ってくれる。

人との付き合いが苦手であるが、一人でいるのも好きではない。4月は何となく、忙しかった。寮に帰ったらへとへとになって何もできなかった。それで、ベットに寝ていたら静かすぎて寂しくなってしまう。世の中に私しかない気もする。テレビがあって、つけておいたら人の声が聞こえるのに、部屋の中はしいんとする。テレビがあれば、テレビの中の人と話しているのをただ聞いているだけで十分で、いちいち答えなくても相手にしてあげなくても私一人ではない感じを与えてくれるのに...

私にとってテレビは、私を気楽に作ってくれる道具であり、邪魔しない友達である。

## ディスカッション

ディスカッションの相手は美男美女グループの呉癸勲さんと同じグループの趙堅さん。呉癸勲さんは「お琴と私」というタイトルで、趙堅さんは「納豆と私」というタイトルでレポートを書いている。お琴を習いながら人との関係を学んだという呉癸勲さんの説明と、日本での生活を納豆の味に比喻して動機を書いた趙堅さんのレポートを読んで、私の動機と通じる場所があると思ってディスカッションの相手に応じた。

### 1. 人を傷つけない話題が得られる 呉癸勲さんとのディスカッション

私：「私にとって、テレビは私を気楽に作ってくれる道具であり、邪魔しない友達である」の動機のまとめについてどう思いますか。

呉：私にとって、テレビはただリラックスするための手段に過ぎないです。洪さんにとって、どういう意味かもっと詳しく話してください。

私：私は初対面の人と、どんな話をしたらいいかいつも迷っています。でも、偶然なことでしたが、テレビがあって初対面の人とテレビを見ながら自然に話し合ったことがあります。

呉：初対面の人とは単純なことから話したらいいんじゃないですか。例えば、“今日はいいい天気ですね。”など。いろいろなことを言ってもいいですよ。普遍的なこと...

普遍的なことは一体どんなことなのだろう。普遍的だと思っているのは、個人的なことが多い。私がこの何もないことにこだわっているのは、中学校の時にショックを受けたからだ。まだ親しくなっていないクラスメートと話すのは“どこに住んでいるの。”“何人兄弟なの。”ばかり。そのようなことだけ聞いたりしていたので、私も平気に隣に座っている友達に“お姉さんかお兄さんいる？”と聞いてみたが、急に泣いてしまうのではないか。

後で知ったことだが、その友達のお兄さんが病気で亡くなったばかりだった。

わざとそのことを聞いたのでもない、直接傷をつけたことでもない。目に見える傷には気を配る。でも目に見えない心の傷はいくら気をつけていても、そのことに気づくのはなかなか難しいだろう。

お兄さんがいるともいないとも言えない、とても辛かった友達に、“お姉さんかお兄さんいる？”この誰でも聞ける質問は傷だったのだ。

その時期は、急に泣いてしまった友達を慰めるのも大変だったが、私の一言で誰かがそんなに悲しくなれることにびっくりした思春期だった。その以来は初対面の人とどんなことを話したらいいか迷っている。

呉：それは洪さんのせいではありませんよ。知らなかったでしょう。

私：はい、まったく知らなかったんです。

呉：それは絶対、洪さんの過ちではありません。私の場合は父が亡くなりましたが、友達に“お父さんは何をしてるの？”と聞かれたら、亡くなったと平気に言ってますよ。

私：でも、自分の辛いこととか悲しいことが言えるというのは、ある程度、克服したと言ってもいいですね。

呉：うん...それはそうですね。私も悲しい感じはもうないから。

呉さんが私の過ちではないと言ってくれたのは本当に嬉しかった。でも、知らなかった、わざとしたことではないと言ったら、それで済んでしまうのか。私は相手の気持ちが分かって謝れるのか。本気になって謝ったら、その気持ちが相手に伝えられるのか。

呉：それは心配しすぎですよ。そのようなら人と付き合えないでしょう。失礼というのは無礼な行動とか言動でしょう。洪さんはそのように思っているから、無礼な行動はしないですね。それは心配しすぎです。

私：いつも失礼しないように注意しています。それで初めて会った人に私が声をかけることはあまりありません。それも失礼かな...

それで私はテレビがすきだ。一緒にテレビを見る機会があったら、見ている番組のことを話しながら、自然に自分のことも話せるようになる。

呉：でも、自分のことまで言うには時間がかかりますね。

私：けっこうかかりますよ。それで、私、いつも無口な人、親しくなりにくい人だと言われてます。

呉：では、洪さんはそんな評判に傷ついたこと、ありませんか。

どう思っていたのか、傷と思っていたのか。無口な人と言われたら、前より無口になる。でも、自分で親しくなりにくい人、無口な人だと平気に言える。私は、これぐらいは誰でも

もできる話だから...とって、私が知らない傷（あまり話したくないこと）に触りたくない。テレビがあれば、個人的なことを聞かなくても、スムーズに話せる。そのうち、自然に自ら言える自分のことを言ったりしてだんだん親しくなる。

## 2. 間接体験ができる 吳癸勲さんと趙堅さんのディスカッション

趙：洪さんのレポートを読んできましたが、人が話したがっていないことを傷だとは思わないほうがいいと思うけど。それは人の性格によって違うと思いますが。

私はどんなことを聞かれても全然平気なのに...

すると、気の弱い私のせいかな。テレビが好きな他の理由を見つけなかったからかな。私が悩んでいるうちに、呉さんが趙さんの子供について聞いた。

呉：趙さん、子供いますか。

趙：います。あ...でも、そんな質問は人に傷になるかもしれないな...

結婚しているし、年も年だし...なのに、子供がいない人だったら、カットするかも。

呉：えっ。どうして。

趙：病気でもあるのかなと思われると腹が立ちますよね。傷ではなかったことが傷になる可能性がある。

韓国に一日でも本を読まないと言口にとげが生えるという格言がある。本を通しては、いろいろなことを間接的に体験することができる。そのようになると、人の気持ちが分かるようになって、配慮できるが、そうではない人の話はとげになって、人を傷つける。という意味だ。テレビを通しては本のようにいろいろな人の人生が覗き見られる。それで、話の種が多いテレビが好きだ。

## 3. 断っても傷つかない 吳癸勲さんのディスカッション

私は人に何かを頼まれると、断れない。友達が頼むのはほとんど相談の相手になってほしいぐらい。相談といっても、たいていは何回も聞いて、もうあきてしまった自分の恋愛話。でも、いくら忙しくても、しなければならぬことが積もっていても、断ったら傷つくかもしれないと思って、すぐ受け入れる。

呉：人間って、あまり弱くないと思いますが。なんで、そんなに頑張っていますか。

私：頑張るつもりではなかったけど、休む時間をちょっと減らしたら、助けられると思って...

呉：でも、休む時間は必要でしょう。だから、嫌な時は断ってみてください。頼んだことが断れたとしても傷ついたりしないと思います。ところで、洪さんの話を聞いて気がつきましたが、人と付き合うの、嫌になりましたよね？ 人と付き合うのは楽しいことなのに... 中学生の時、傷ついたのは友達じゃなく、洪さんでしたね。人から逃げようとしているんじゃないですか。

テレビにはいろいろな人が出て、絶えずに何かを言う。でも、相手にしなくても、答えなくてもいい。また、それも嫌になったら、消してもいいが、人と向き合ってはできない。人間は弱い存在だから、守ってあげようと... 今までそのように思っていたのだが、一番弱いのは私だった。

## 結論

テレビが好きな一つ目の理由である「私を気楽に作ってくれる」、この動機のまとめについては、残念なことだが、中学生の時の出来事をディスカッションの相手に言ったら、相手が私の悩みを理解してくれて、結果的に他の意見を聞けるチャンスを逃してしまった。

それで、テレビが好きな二つ目の理由である「邪魔しない友達」も、実は特別な経験で出たまとめだったが、そこまで話すと、本当に険しい思春期だったなぁと思われるかもしれないし、また人のいろいろな意見をふせいでしまうかもしれないと思って話さなかった。最後のディスカッションで、呉癸勲さんにいろいろな意見を聞いて、動機のまとめについて、考えがちょっと変わった。今まで弱い存在である人間を言葉でも傷つけまいと思い、私は人を配慮していると勘違いしていたが、今回呉癸勲さんと話して、実は弱い自分だけを守ろうとしていたのが分かった。呉癸勲さんはいろいろな人と積極的に付き合っていて、傷ついたり傷つけたりしながら人の強さが分かるようになった。でも、私は人を配慮するという口実をつけて、私の勝手にできるテレビと付き合っていたので、人の強さとか、人との付き合いの楽しみを忘れていたのが分かった。その状況を乗り越える方法はまだ見つからなかったが、ディスカッションを通して、考え方がちょっと変わったので、もうすぐ行動も変わると期待している。

## 終わりに

このレポートを書き上げるために、ディスカッションの相手にしてくれた呉癸勲さんと趙堅さん、また、いろいろなアドバイスしてくれたナツサルの皆さん、本当にありがとうございました。毎週、私とは違ったり、考えたこともない意見を聞いたりするのは本当に楽しかったです。

## 「総合」を終えて

三代純平

今回、グループ「なつさる」のリーダーとして参加した。

リーダーとして参加したわけだが、あまり、リーダーらしくなかったなあ、と思う。

どちらかという、みんなが「友達」のような感じだった。

それがいいか、わるいかはわからないが、とにかく楽しく 3 ヶ月の活動ができたことはうれしかった。

リーダーといっても、何かをみんなに教えるわけではない。とくに、単語も、文法も教えない。みんなといっしょに、レポートについて話し合っただけだ。

この活動には、最終的なゴールはない。ひとつの「答え」が用意されているわけでもない。そこがおもしろい。ひとりひとりが、自分のオリジナリティをいかして、レポートを完成させる。それはひとつのゴールではあるが、最終的なゴールではない。

このレポートの作成に必要なことは、自分の考えを表現すること、相手と、何かについて話し合うこと、だ。そして、この、相手の話を聞いて、自分表現するという活動は、ことばは話す限り続いていく。

今回、すばらしいレポートを完成させた「なつさる」のメンバーのみんなが、これからも、日本語で自分の考えを表現していってくれば良いなと思う。また、ぼくも、自分の考えを表現できるようにしていきたいと思う。

## 菜食主義

ロッタリーナ

1. intro
2. デイスカッション
3. 結論

もう6年間ベジタリアンだ。理由は健康のことではない。精進料理は肉を使う料理より健康的だと思うけれど、それは私にとって大切なことではない。私の生活を快適にするために動物を犠牲にするのは残酷だと思う。だから肉とか卵とか乳製品を食べないし、比較的製品を使わない。牛乳や産卵するの鶏肉も虐待されることになる。昔に牛乳はだいたい自由に野原にすんでいたけれど、今は全然違う。現代の農場は工場みたいな場所だ。大きい建物の中にある牛が多い過ぎるだから、牛がそれぞれとても狭いところに住んでいる。外で全然あそばなくて、この建物にずっと住んでいる。鶏肉も同じだ。ちいさいかごに一匹以上の鳥が入れて、鳥は動けない。それは公正ではないと思う。だって、動物は無生物ではなくて、生けるものだ。

6年前に私は菜食主義とか動物の権利について少し狂信的だった。自分の意見だけ正しいと思って、肉を食べる人は少し悪いと思った。もうそうではない。もちろん私にとって今も大切なことだけれど、もう他の人意見を変えさせようとはしないし、自分考え方を説教したくない。他の人は自分の考え方を決める。

フィンランドにベジタリアンが多く、ベジタリアンの生活は簡単だと思う。例えば、大学や学校の食堂では昼食にベジタリアンのために特別の料理を作らなければならない。また、スーパーでダイスで作ったチーズやソーセージなど買える。日本へ来たら、ベジタリアンだから、生活は料理について少し難しくなった。例えば、友達と外で食べるのは大変で、適当な居酒屋を探すのに、長い時間がかかっている。いつも私の食事について問題が起こって、友達にたいして失礼な感じがする。しかし自分で料理をする時には大丈夫だ。日本の野菜はおいしくて豆腐や納豆大好きだ。

## 2. デイスカッション

森元さんと一緒に一回だけ話す機会があった。森元さんは過去肉を食べたくなかった。それは動物は生ける物だからだ。今肉を食べる。もちろん前と同じ意見をまだもっているけれど、動物が他の動物を殺して食べるから肉を食べるのは世の中に自然なことだと思う。私もそう思うけれど、今の食物の生産するシステムは自然ではないと思う。森元さんは私

がそんな考え方をもっとはっきり説明してあげるほうがいいと思ったから、私たちは大体その意見についてだけディスカッションした。私にとって現在の経済のシステムは悪い。いつも前よりもっと大きい利益をもらうために動物や人を虐待するのは大丈夫だ。そんな考え方は今の世界に特徴なことだと思う。私にとってベジタリアンになるのは肉を食べないのよりもっと広い意義を持っている。どうやってわれわれの食べている動物が飼育されているか。どんな状況で私たちの買った物を作った人は働いているか。あの人々は毎日何時間働けなければならないか。いくらぐらいサラリーもらうか。私にとってこれ全部は菜食主義のイデオロギーと関係がある。例えば、普通はチキタ企業のバナバ農園で働いている人がたくさん働くけれど、お金が少しだけもらう。また殺虫剤を賛否する時、あの人畑に働けなければならない。差中座は有毒だから病気になる人が多いけれど、チキタ企業はあの人を手伝わない。森元さんにとって菜食主義は大体肉をもう食べたくないのような考え方だ。森元さんは私の意見を分かったけれど、少し広すぎるかもしれないと思った。もちろんそんなことはよくないけれど、菜食主義と関係あるかどうか森元さんにとって明瞭なことではない。

### 3. 結論

私はいつも友達や両親や色々な人とこのテーマについてディスカッションしている。話す時、違う意見があるかもしれないけど、いつも相手の話を聞いて相手の意見を尊重している。16歳のときに時々大変横柄だつて、誰か動物の権利や菜食主義について違う意見を持ったと、私が“この人はバカだよ”と思った。もうそういうふうに思わない。違う意見は悪い意見と同じことではない。しかし、菜食主義について私の意見は過去6年間の間に少しだけ変わった。積もりこの作文を書いている間に楽しいディスカッションしていたけど、結果自分の考え方が変えなかった。したがって、私の結論と **intro** は大体同じだ。

ベジタリアンがある理由は動物を食べたくないのだけではない。多数の人はもう自分で食事のために食物を繁殖できないし、どうやってわれわれのスーパーで書いた食料品は生産しているか健在の人はあまり考えない。われわれは朝ご飯にフライド卵を食べたいから、その卵を産んだ鶏は自分の短い生活の間虐待されている。それは不正だけど、普通の人は自分の食物の生産とあまり関係ないから、そんなことを考えない。肉を食べるのは世界の中で自然なことだけど、生産方法もう自然ではない。動物の飼育方法だけではなくて、野菜や果物の育つ方法もすごく変わった。殺虫剤や遺伝子工学などは今普通のこと、それもダメだと思う。チキタ企業は自分の会社員を虐待して売るから、私はチキタのバナナをぜんぜん食べない。

他の人にとって私の菜食主義の見解は広すぎるかもしれない。しかし、私にとってこれ全部関係がある。

## なっとうと私

趙堅

動機：

私は日本にきて半年以上住んでいます。日本へ来る前に日本の一番おいしい食べ物は刺身だけと知り、納豆というのはどんなものだぜんぜん知らない。日本来たあどで、ある日友たちとスーパーに買い物に行った、友たちがスーパーでなっとうという物を買って見て、”それは何でって友たちに聞きました。なっとうで、日本の有名な食べ物です。栄養がとても豊かですって友たちがいいました。いえにたえってなっとうを試食してみると、味がちょっとおかしいと感じた。あまりなれられない。その後、長い期間になっとうをまったく食べたくなくなりました。

今年の一月私はテレビをみて、刺身のつくり方を紹介していた。そのときなっとうがそのような作り方だ作って、味がおいしくなるかもしれないと思う。そしてなっとうを買って、緑わさびやしょゆうが入れて、はしで混ぜて、試食していて、味がうまくなると感じる。それから私はなっとうがだいすぎです。

私は日本にの体験が納豆のようです。日本に初めて、さまざまな適応しないことがある、例えば、さびしい感じとか勉強の圧力とか生活のリズムの速さとか仕事の緊張感などは私に対して、とっても慣れられない。

しかし 私は明るい気持ちを持っていて、一所懸命に努力するに通して、今はそれ以上の困難が克服してし舞った。人が詳しくない環境に陥る時、必ず二明るい気持ちを持ち、自分の努力をするに通して、ぜひ窮地から歩き出さるだろう。

ディスカッション報告

ディスカッションの相手は同じグループのホンザヨンさんだった。  
テーマは納豆と私について、話し合った。

洪：日本の生活はどうですか。

私：体や精神はとっても疲れた。

洪：いま日本のことは慣れましたか。

私：基本に慣れました。

洪：勉強の圧力や仕事の速さが詳しく説明くれませんか。

私：私は日本に来る前に、一年間自分で日本語を独学していた。前学期のはじめて、日本語のレベルは三級ぐらいでした。でも 私のクラスメートは日本に来る前は何年間日本語を勉強していた。聞く力やはなす力が私より上達だった。一学期が立って、自分で一生懸命に勉強する通して、日本語が向上しているのが思った。でも 新学期になると、新しいクラスメートたちにくらべて、とっても低いということが感じる。勉強の圧力が大変ね。私は国で事務所に勤めていた。仕事のリズムはゆっくりでした。時々仕事をしながら、同僚とおしゃべりをしていて、日本ではそれはだめです。ずっと一生懸命に仕事を早くしている、とっても緊張です。いま日本の仕事のリズムが慣れましたけど、私はとっても疲れたねえ。

洪：さっき チョウさんはそれ以上言うことは納豆とどうな関係がありませんか。私：私は日本に初めて来ると、いろいろなことがなれませんでした、自分の努力通して、いまは 全部なれました。そのように納豆は同じです。納豆ははじめてたべると、味がおかしい。だった、自分の作り方でつくして、納豆の味がおいしくなりました。それは隠喩の表現手段です。

#### ディスカッション報告 (=回目)

私：洪さんは日本での生活がどうでしたか。

洪：勉強の圧力がすこしある、日本で仕事をしないので、しごとの緊張感が感じありませんでした。

趙さんは納豆が大過ぎなんだけど、ほかの食べ物がだいすぎじゃない。

私：そうですね。納豆よりおいしい食べ物がたくさんあるけど、でも高、いし、よく食べられないし、納豆はよく食べて、印象は深刻だ。

私：人は悩みがあると、一般には解決の手段は何ですか、洪さんはどうですか。

洪：悩みがある時、人たちは一般にはたくさんタバコを吸いたり、いっぱいお酒を飲んだりしています。私はその時、テレビを見たり、時々お酒を飲んだりしています。趙さんは悩みがある時、お酒を飲みますか。

私：私はその時、時々お酒を飲んでみます、悩みが臨時にわすれちゃった、しかし翌日目を覚めて、悩みはまた戻ります。

洪：どうして 明るい気持ちを持って、いろいろな困難が克服することができる。

私：日本にはじめて、いろいろな慣れないことがあるけど、気持ちは悪くなるはずだった。こんな悪く気持ちをずっともって、勉強するとか、働くとか、時間が長くなると、ストレスになるかもしれない。

納豆はおいしくなるこつは醤油やわさびですから。明るい気持ちは醤油とかわさびなど見たいです。明るい気持ちをもったら、いろいろな慣れないことが慣れるようになります。

結論：

私は日本にだいたい一年間ぐらいいます、今 いろいろな慣れないことが慣れるようになりました。日本に最初いろいろな慣れないことが私に困っていました。どんなすればいいか、ちょっと 知らない。とっても大変です。それから いい仕方がさがしたいと思った。結果に納豆からいいしかたがみつきました、明るい気持ちということです。生活は納豆みたいです、明るい気持ちは醤油やわさびなどみたいです、明るい気持ちをもったら、生活は納豆ようにおいしくならなければならない。